

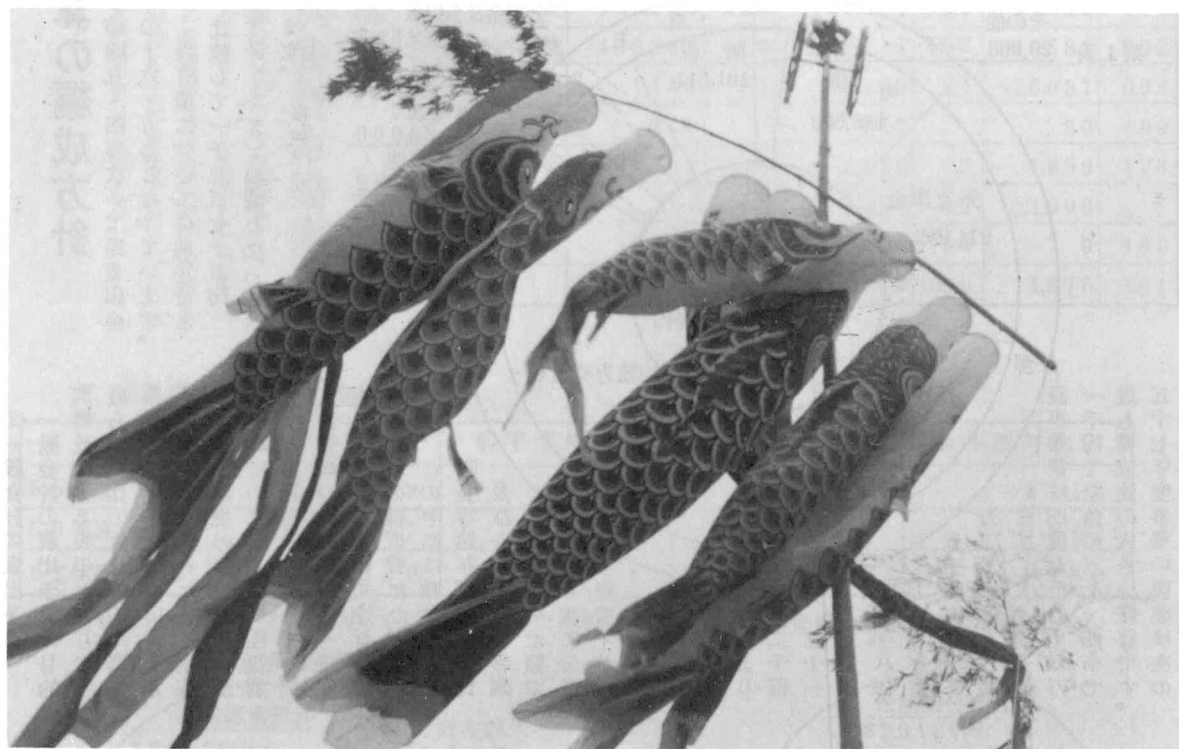
や 広報たしる

No. 344

昭和57年5月号

田代町総務課編集

1,500部発行



子どもの日

〃五月晴れの空に元氣よく泳ぐ鯉のぼり〃
五月五日は「子どもの日」この日は、子ども的人格を重んじ、子どもの幸福をはかるとともに、母に感謝するというのが祝日の趣旨です。

また、この日は「端午の節句」でもあります。五月五日の年中行事として古くから中国・朝鮮・日本などで行なわれています。〃しやうぶ〃と〃よもぎ〃を軒先にかざり災厄を防ぎ、ちまきや柏もちを食べ、鯉のぼりを立て、人形をかざって子供が健康ですくすくと育つように祝うということです。

子どもたちにとって現代の社会状況というのは、家庭生活・遊び・交通機関などどれをとっても楽になった反面、きびしい情勢がまちうけています。

子どもたちがすこやかに成長するように皆で祝うことはもちろん、このような機会に、子どもの問題を将来にわたって考えてみましょう。

昭和五十七年度
一般会計予算の編成方針

昭和五十七年度の町予算は国・地方を通じるきびしい財政状況のもとで現在の経済基調、さらには人口の推移等から大幅な歳入予算の増額は期待できない状況であります。

の四五・四％次いで県支出金の十六・五％となっています。尚町債については前年度と比較して一千七百七十万円（十一・六％）の減となっています。

しかしそのような状況下においても「産業の振興と生産基盤の整備」「生活環境の整備」等を重点的に実施し財源の重点的配分と経費の効率化に徹するとともに創意と工夫をもって町民福祉の向上と町勢の発展を基本に年間予算として編成されました。

一、一般会計予算規模
昭和五十七年度の予算規模は十三億五百六十七万八千円で前年度と比較して百六十七万五千円、(○・一%)の伸びでは、昨年とかわらない予算規模となりました。

(1) 一般会計の歳入予算
一般会計の歳入予算の状況は第一表のとおりです。町が自主的に収入できる自主財源は全体の二億九百四十九万七千円（十六・〇％）で収入の大半は国や県に依存する収入でまかなわれています。最も構成比の大きいのは地方交付税

第3表 一般会計歳出予算性質別内訳

(単位：千円)

区 分	昭和57年度		昭和56年度		比 較	
	当初予算額 (A)	構成 比	当初予算額 (B)	構成 比	(A) — (B)	(A) ／ (B)
人 件 費	313,932	24.0	295,541	22.7	18,391	1.06
物 件 費	121,458	9.3	117,280	9.0	4,178	1.04
維持補修費	13,379	1.0	12,039	0.9	1,340	1.11
扶 助 費	88,252	6.8	47,165	3.6	41,087	1.87
補 助 費	109,480	8.4	128,613	9.9	△19,133	0.85
公 債 費	156,223	12.0	134,911	10.3	21,312	1.16
普通建設事業費	488,937	37.4	528,819	40.5	△39,882	0.92
災害復旧事業費	1,146	0.1	27,183	2.1	△26,037	0.04
出 資 金	370		340		30	1.09
積 立 金	7,501	0.6	6,112	0.5	1,389	1.23
繰 出 金	—		1,000	0.1	△1,000	
予 備 費	5,000	0.4	5,000	0.4	0	1.00
計	1,305,678	100.0	1,304,003	100.0	1,675	1.01

田代町国民健康保険

特別会計の動向

国民健康保険事業は町の公営事業であり、国保事業は保険料（税）と国庫負担金等の特定の収入を財源とし、保険給付（疾病・負傷・出産・死亡）を主とする。特定の支出に充てる特色から給付事業の完全化をめざして収入の確保と

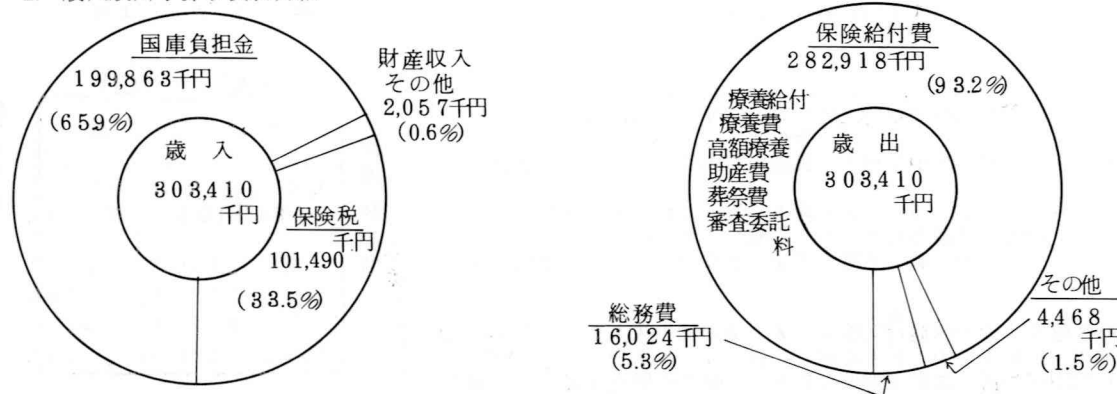
国保税の公平な徴収につとめることとし、昭和五十六年度の医療費及び保険税の推移と昭和五十七年度予算について次のとおり公表する。

1. 医療費及び保険税の推移

	医 療 費 （千円）	前 年 度 対 比 %	保 險 税 （千円）	前 年 度 対 比 %
5 5 年 度（実績）	2 6 1, 4 6 9	3.6 8	6 6, 2 0 0	1 7.1 4
5 6 年 度（見込）	3 4 3, 7 9 7	3 1.4 9	7 2, 2 0 6	9.0 7
5 7 年 度（予算）	3 6 0, 0 0 0	4.7 1	1 0 0, 8 4 0	3 9.6 6

※ 56年度の医療費の伸び（31.49%）は高額療養費の増加と療養費の伸びが原因である。

2. 歲入歲出予算事項別明細



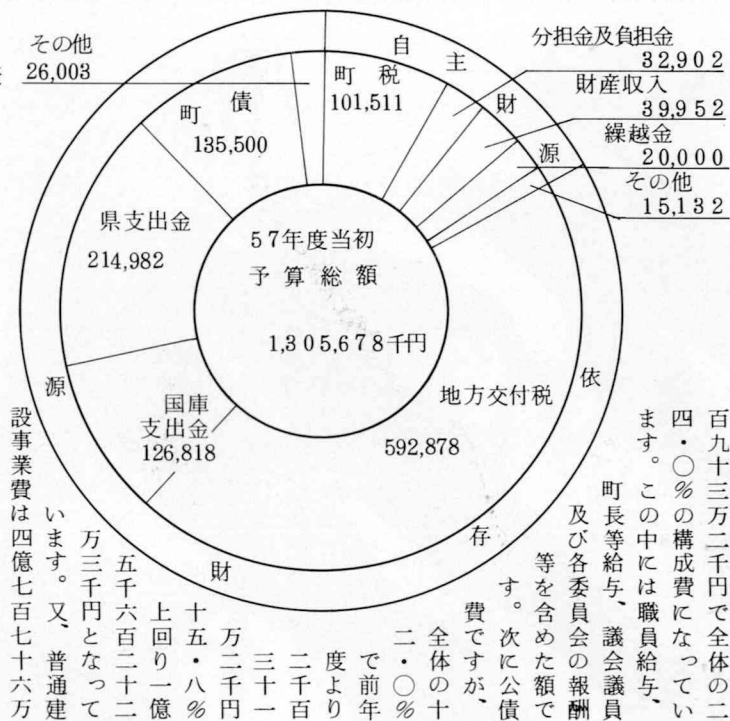
3. 課税対比 (57年度)

保険税予算 (当初)	1人当 税負担	1世帯 当負担
現年度分 千円 100.840	円 29,659	円 87,687

簡易水道事業特別会計

五十七年度簡易水道事業特別会計は歳入歳出一千二百四十六万一千円で歳入では事業収入一千九十万五千円（水道使用料一千八十九万円、給水工事収入一万五千円）その他給水負担金、繰越金等です。歳出では、総務管理費の四百五十六万八千円（職員給与費水道使用料取りまとめ納入謝礼金、その他事務費）事業管理費が五百十八万六千円で（各浄配水池の電気料、水質検査料、宮前水中ポンプ入替工事）建設改良費二十五万円（災害用配電盤工事）公債費百九十七万二千円（施設建設時の借入金償還金）等となっております。

第 1 表



一千円で全体の三七・四％で最も構成比の大きい経費です。五十七年度事業の概要は次の

第2表 一般会計歳出予算目的別内訳

(単位：千円)

区 分	昭和57年度		昭和56年度		比 較	
	当初予算額 (A)	構成 比	当初予算額 (B)	構成 比	(A) — (B)	(A) / (B)
議 会 費	46,333	3.5	41,500	3.2	4,833	1.12
総 務 費	172,175	13.2	171,922	13.2	253	1.01
民 生 費	116,185	8.9	108,367	8.3	7,818	1.07
衛 生 費	31,310	2.4	25,846	2.0	5,464	1.21
農 林 業 費	352,930	27.0	389,933	29.9	△37,003	0.90
商工水産費	3,435	0.3	3,220	0.2	215	1.07
土 木 費	246,634	18.9	225,527	17.3	21,107	1.09
消 防 費	48,612	3.7	45,827	3.5	2,785	1.06
教 育 費	125,695	9.6	124,767	9.6	928	1.01
災害復旧費	1,146	0.1	27,183	2.1	△26,037	0.04
公 債 費	156,223	12.0	134,911	10.3	21,312	1.16
予 備 費	5,000	0.4	5,000	0.4	0	1.00
計	1,305,678	100.0	1,304,003	100.0	1,675	1.01

事業名
公有林整備事業
森林総合整備事業
交通安全施設（ガードレール・カーブミラー）
町単農地造成
活動火山周辺地域防災営農対策事業
集団開伐実施事業
池野林道新設
内ノ牧放牧場用地購入
県単小梅枝地区農道整備
〃 長尾地区 〃
〃 久木野地区 〃
町単農林道整備
広域農道整備
農免農道整備
農業基盤整備（暗渠排水・集落道路）
小規模ほ場整備（山神地区）
農村振興運動事業（農道・集落センター等）
集団農地総合整備事業
転換水田整備事業（桑木ヶ池地区）
東西大原舗装
内ノ牧一号線改良舗装
下線舗装
盤山一号線舗装
辺吉切線 〃
馬渡橋整備事業
公営住宅建設事業
花瀬公園整備事業
防火水そう（2基）
校長住宅購入

とおります。

教育だより

今年もまた

仲よし農園の田植え

大原小学校

早期水稲の田植えシーズンを迎えた去る四月八日木曜日本校では、仲よし農園の田植えを行いました。



りっぱな看板もできました

今年の水の関係もあって、早期である。前日まで雨、水温など心配されたが、当日は好天に恵まれ、絶好の田植え日和となった。係の福岡教諭をはじめ、先生方も一安心というところであった。

本校の学習農園も、今年で三年目。「農業の機械化に」ともない、児童にとっては見る田植えにかわりつつある現状にたいし、実際に水田に足を

ふみ入れ田植えをすることによって、汗を流し働く喜びをわからせるとともに、生産の大事さと父母の苦勞を体得させる。ことがねらいである。

「一株に四本位植える。」

「深植えをしない。」などの注意を受け、二・六年生まで全員、田に入った。

泥んこになりながらも、みんないっしょけんめい。網の張り方、苗の植え方もだいたい、じょうずになったように思われる。二・三年生が一時、四・六年生が二時間、たっぷり土の感触を味わった。「田植えは、とても楽しかった」と子どもたちの声。

植えたもち米が立派に実り取り入れ祭りや卒業、入学式の紅白の餅が、またできるのではないだろうか。

そのためには、水かけ、害虫、台風など心配なことも多いことも忘れてはなりません。稲が立派に実るとともに、子どもたちの心も立派に実ることを願う田植えでもあった。



なれた手つきで田植え

(転出)

新任校	職名	氏 名	本校在職年数
教育センター	所長	山崎 昭雄	3.0
鹿屋農業高	教諭	福元 和子	8.0
南大隅高	〃	長浜 洋治	4.0
退職		入佐 和代	0.4

(お世話になりました。)

(転入)

職名	氏 名	旧任校	出身地
校長	竹ノ内隼夫	指宿高	金峰町
教諭	宇都美紀子	蒲生高	福山町
〃	稲次由美子	指宿商高	えびの市

(よろしくおねがいます。)

町教育総会開く

去る二十六日、町内の小学校の先生方が一堂に集まり教育総会が開かれました。

これは本町の学校教育の向上をはかるため、研究推進組織を確立し、相互の研究を深めるとともに体育的レクリエーションを通じて本町内学校職員の融和親睦を図る機会とするものでした。

会は全体会で教育長より本町の教育行政について基本的な考え方の説明があり、その後、教科別分科会、教科外分科会がもたれました。分科会では、研究組織や研究テーマが設定され、研究の計画が立てられました。

希望にもえて、新学期のスタート

田代分校

田代分校では、二月二十日卒業予餞式を行い五十一人の卒業生を送り出したが、この度、四月七日の入学式で、男子二十七人、女子十六人、計四十三人の新生を迎えました。

出身中学校別に見ると、田代中二十五人、大原中七人、滑川中九人、池田中一人、大根占中一人でした。

これにより、当校の出身町別生徒数は次のようになりました。田代町一〇三人、根占町三十四人、大根占町十六人、計一五三人。

昭和五十七年度の教職員異動により、当校では次のとおり転出・転入がありました。

以上のように入学生や新しい先生方を迎えて、部活動やクラブ活動も現在新しい陣容で出発しようとしています。

昨年は、剣道部の女子チームが県大会で第三位に入賞するなどすばらしい成績をあげ、また他の部もそれぞれ活躍していました。

今年は、部活動は昨年と変わりませんが、クラブ活動に、舞踊クラブ、茶道クラブ等が新たに加わりその活動が期待されています。

商業統計調査に

ご協力を!!

商業統計調査は、昭和五十七年六月一日現在で実施される指定統計調査で、全国の卸売業、小売業及び飲食店を営んでいる商店をもれなく調査するいわば「商業の国勢調査」ともいわれるものです。

この調査の目的は、商店の取扱品目や販売額等について調査し、我が国の商業活動の実態や商店の分布状況、商品の流れなどを全国並びに地域別に明らかにすることです。また、調査の結果は、国や都道府県、市町村におけるいろいろな計画の立案や、施策を講ずるための基礎資料等各方面に利用されています。

五月下旬から調査員が貴商店を訪問し、調査票の記入をお願いしますので、正確な申告をお願いいたします。

五月は自動車税の納期です。対象は四月一日現在陸運事務所に登録されている自動車の所有者。納期限は五月三十一日。納入方法―陸運事務所より送付される納税通知書

五月は国民年金の

現況届の提出時期です

国民年金の障害・母子・準母子・遺児・寡婦年金を受給されている方は毎年五月三十一日までに「国民年金受給権者現況届」を役場を通じて社会保険事務所に提出することになっています。

現況届は、引き続き年金を受けるための大切な手続きですので、不明な点など詳しくお知りになりたい方は、役場の年金係または最寄りの社会保険事務所にお尋ねください。

健康だより

「ふえている糖尿病」

最近特に中年以上の人に糖尿病が見られます。糖尿病とは、すい臓から分泌されるインスリンというホルモンが少なくなり食べ物に含まれるでんぷんなどの糖質を、体のエネルギー源として活用できなくなるために血液中のブドウ糖が異常に多くなるのが糖尿病です。糖尿病は体の活動能力を低下

させるばかりか脳卒中、心臓病、腎臓病、視力障害などの合併症を引き起こします。早期発見、早期治療が大切です。次の症状のある方は黄信号です。一度検査を受けましょう。

- 「よくのどが渇くので、水やお茶等をたくさん、しかもしばしば飲む。」
- 「トイレの回数が増え、一回当りの量も多くなる。」
- 「体重が減りやせてくる。食べても太らない。」
- 「甘い物を欲しがるようになる。又いくら食べても満腹感がない。」
- 「眼がかすんだりして、視力障害が現われる。」
- 「皮膚特に陰部がかゆくなる。インポテンツになる。」

この病気で気をつけなければならぬのは、初期の段階ではほとんど自覚症状がないことです。特に女性の場合は妊娠や出産をきっかけに発病する事がありますので、検査を時々受けて欲しいものです。早く発見して正しく治療すれば脳卒中や心臓病等の合併症も予防でき、健康な人と同じように活動できます。自らの自覚で健康を守りましょう。

人口動態	
基本台帳人口	前月との増減
57年4月1日現在	
男	2,196人 △15人
女	2,337人 △27人
計	4,533人 △42人
世帯数	1,470戸 △1戸

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

「篤志寄附金」

田代町社会福祉協議会に、田代町に逝去された方から、町社会福祉協議会に御礼申し上げるに値する御遺族の御冥福をお祈り致します。徳永 義教様

社会教育行政施策決る!!

本町の社会教育を推進するための基本的な考え方や努力点等が決まりました。町民のみなさんの生涯教育の場となりますよう各種学級・講座・行事・事業等を進めていきたいと思ひますので積極的な参加をお願いいたします。

目 標

- (1) みんなが学び・参加する社会教育・社会体育の推進
- (2) 豊かな心を培う芸術文化の振興をはかる。
- (3) 生涯教育の推進をはかる。
- (4) 青少年教育の充実
- (5) 成人教育の振興
- (6) 町民運動の推進をはかる。
- (7) サンライフ運動の推進
- (8) 青少年自立自興運動
- (9) 農村振興運動
- (10) 新生活運動の展開
- (11) 社会体育の振興をはかる。
- (12) 町民のスポーツ活動の生活化をすすめる。
- (13) 自主団体の育成と組織化
- (14) 安全対策の充実
- (15) 生涯教育・社会体育施設の整備活用をはかる。
- (16) 図書館の整備活用
- (17) 視聴覚ライブラリーの整備活用
- (18) 体育施設の整備活用
- (19) 指導体制の充実をはかる。
- (20) 主事、指導員の資質向上
- (21) 民間有志指導者の養成と活用
- (22) 諸団体との連絡提携
- (23) 文化活動を促進する。
- (24) 文化団体の育成
- (25) 文化講演会の開催
- (26) 芸術文化の導入と文化事業の推進
- (27) 伝統行事の調査発掘と育成
- (28) 文化財保護の推進
- (29) 文化財保護審議委員会の開催
- (30) 文化財保護の推進と未指定文化財の調査
- (31) 民俗資料の収集及び保管
- (32) 文化財愛護思想の啓蒙
- (33) 広報活動の促進
- (34) 教育広報の内容充実
- (35) 広報無線の適宜な利用

社会教育講演会のお知らせ!!

- ・ テーマ「子の心 親知らず」
- ・ とき 五月十一日 午後七時三十分
- ・ 講師 船本英示先生
- ・ ところ 開発センター

花瀬祭駅伝大会

猪鹿倉(一般) 田代分校(学生) 優勝



ゴール付近のようす

恒例の花瀬公園祭町内一周駅伝大会が十五チームの参加を得て、花瀬公園一中原一新田峠一麓一川原一花瀬公園のコースで行なわれた。今年は一般の部の平石小組合と三共建設チームの初出場があり、十四回目の大会に花を添えていただきました。

参加者の中でも三共建設チームの堀之内四男さん(折小野)は四十八歳の年令を感じさせない走りを見せ、沿道の声援を受けていました。また紅一点、平石の山崎リツ子さんも男性に負けじと力走してくれました。今大会では小学生や女性の参加もあり、町民

の健康づくりと融和を深める目標にさらに一歩近づいたような気がします。

最後に、大会の役員としてご助力をいただきました体協役員の方々と交通安全協会の方々、また、田代分校の女子学生の方々に感謝申し上げます。

成績は次の通り

△一般の部▽

- | | |
|--------|------|
| 一位 | 猪鹿倉 |
| 二位 | 盤山 |
| 三位 | 鳥淵 |
| 四位 | 早瀬 |
| 五位 | 辺志切 |
| △学生の部▽ | |
| 一位 | 田代高校 |



敢闘賞を受賞する堀ノ内四男さん

- | | |
|----|-----|
| 二位 | 大原中 |
| 三位 | 田代中 |

△区間賞▽

- | | |
|----|-------|
| 一区 | 鳥淵千秋 |
| 二区 | 柿迫幸男 |
| 三区 | 貫見和洋 |
| 四区 | 猪鹿倉秀志 |
| 五区 | 猪鹿倉勝広 |
| 六区 | 柿迫忍 |
| 七区 | 早瀬幸男 |

△敢闘賞▽

- 堀ノ内四男
- 山崎リツ子
- 川崎 康己



アタックが決る!

スポーツ教室の延長としてママさんバレークラブが活動しています。先日は地区の大会に参加し親睦を深めました。

◎一回戦

田代 2-10 滑川

◎二回戦

田代 0-12 内之浦